【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】　一件大槌 79

事業番号　◆A-4-2-1 事 業 名　埋蔵文化財発掘調査迅速化事業（大槌町）	
事 業 費　総額 0.0001 億円（国費 0.0001 億円） （内訳：旅費 0.0001 億円）	※他の事業地区との合同事業であり、事業費は事業地区で按分している。
事業期間　平成 24 年度	

事業目的

東日本大震災津波に伴う復興事業の実施に当たり、事業エリア内での埋蔵文化財の把握並びに発掘調査をいかに迅速に行うかが大きな課題となっていた。

復興交付金基幹事業として実施する発掘調査の諸工程の中で、最も専門的な技術を有し、かつ時間を要する記録作成作業に最新のデジタル技術を導入して作業時間の短縮を図るため、本事業によって、発掘調査担当者がデジタル機器を利用できるように、操作技術等の講習会を実施するものである。

事業地区

大槌町

事業結果

県内の各事業地区の担当者を遺跡のある現地（野田村）に集合させ、最新のデジタル機器等に関する専門技術を習得するため、外部講師による講習会を実施した。

- ○　開催日　　平成 24 年 11 月 21 日
- ○　開催場所　野田村新館遺跡
- ○　講師　　奈良文化財総合研究所職員
- ○　対象事業地区　宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、田野畑村、野田村
- ○　参加者数　　約 30 名（うち、本事業地区からの参加者１名）

事業の実績に関する評価

①　事業結果の活用状況に関して

［調査・分析］

本事業の実施に伴い、発掘調査担当者が最新のデジタル機器等に関する操作方法等を習得したことによって、埋蔵文化財発掘調査の迅速な実施につながった。

［評価］

上記のとおり、本事業によって発掘調査担当者の技術習得が図られ、迅速な調査の実施につながったことから、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。

②　コストに関して

［調査・分析］

- ○　岩手県会計規則等に基づき旅費を支給している。
- ○　他地域の調査に係る分も一括して実施することにより、コスト削減につなげた。

［評価］

上記のとおり、会計規則等に基づき行われた事業であり、他の事業地区と一括して実施することによってコストの削減も図られたことから、本事業に要したコストは妥当と判断する。

③　事業手法に関して

［調査・分析］

	想定事業期間	実際の事業期間
講習会	平成 24 年度	平成 24 年度

○　埋蔵文化財の発掘調査に先立ち、本事業の講習会は計画したとおりの時期に開催することができた。

［評価］

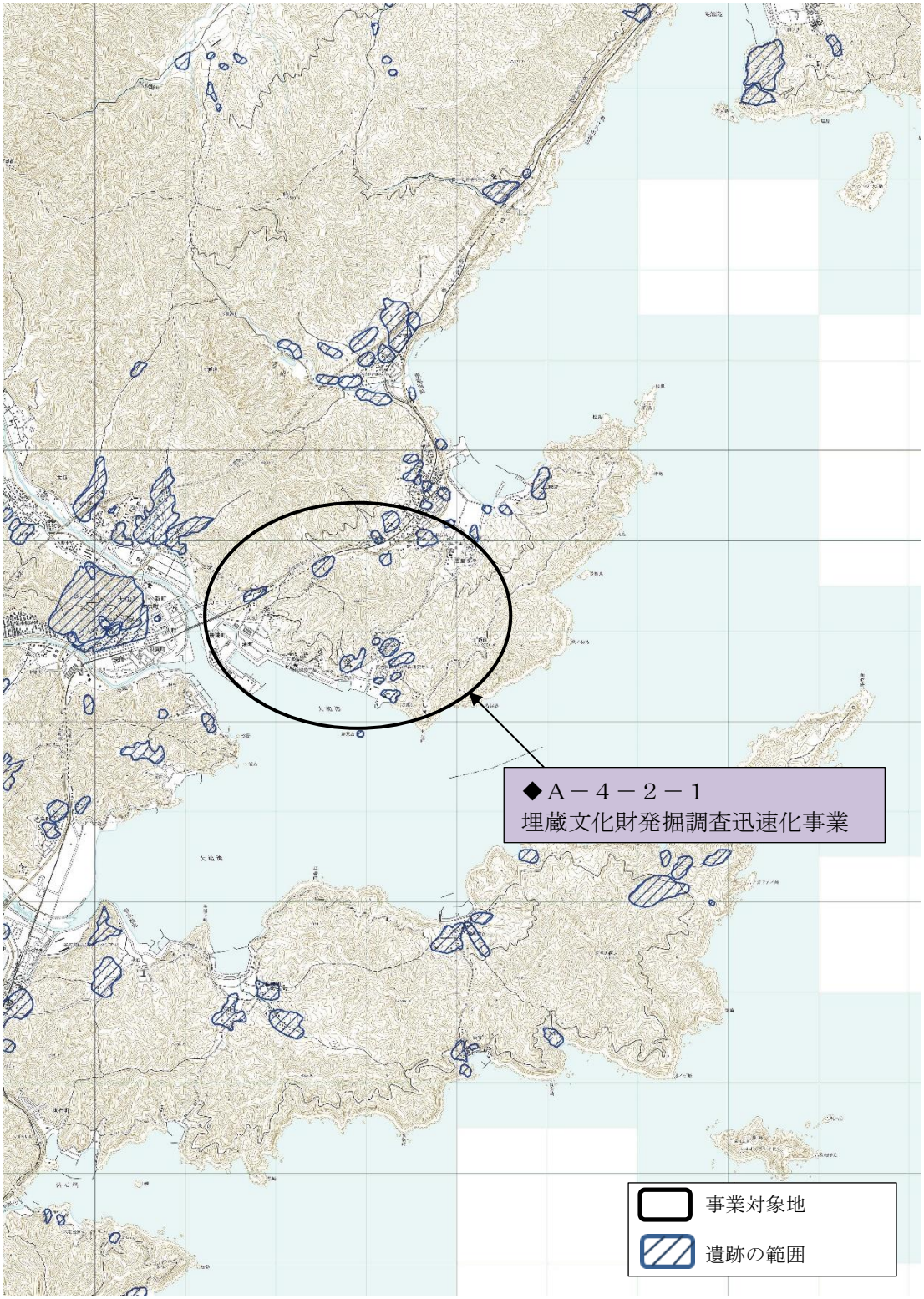
上記のとおり、当初の事業計画に基づき実施し、発掘調査の迅速な実施につながったことから、本事業の手法は妥当であったと判断する。

事業担当部局

岩手県 教育委員会 生涯学習文化財課　電話番号：019-629-6182

別　紙

◆Ａ－４－２－１　埋蔵文化財発掘調査迅速化事業（大槌町）



【位置図】

【講習会の様子】